○箕苑士口芸ヲ以死ニ在ラレル哉ト云フ事ニ極ヤモ同ル○速水老ハ晩モ
仮ニ出来モノ也不気ニ気ナレ共カシ取ルカズ出石ノ井ニ
室中ニ教エノ人僕拙ニ相ニ関リ

[illegible]

大ニ気ヲ死ナ遊セ給ノ御ク四ニ有ナレ
兼給ナル母而ナル所ニ兼給ナル通ルナレ家此室
仍而先ヅ家給而声ニ致レ 誠ニ老路ノ云フ且老
人ダモノ公心燃ヘ○おぐしさめがね等出立
ある〈此ニ致シ是迄一々事ニ而御取計被下候 大言ノ清子来御
母痛キデ其れんとスル大ニ驚キと言をして来れんら
いられず[illegible]ノ本ニ致レ走ニ帰ル時ハころで送ル人者人
アリモ候ハ老仰被知ル所ナリ又金子ハ如何シテ在ルソ解悉ハナ
キ故○大拙老母ニ一でんり尋ネ秋立風と共ニ起ル所ノ庭不ヲ招クヲ
清水金子米江士方ニテ世ウタハ食客ハ始末シカ書消赤ニテ付ル
イワシノテ物ヲ入テ諸権ジヤ及ノ箱中トシテ内ニ探ヅリ見テ呉ヨ
往来ハ元ノ如シ○東ヨリ始メテ馬来ルトコヘリ実ニ東モ西モ
情ナキ事ト云フ月日ナリ 大拙ノ盲ニテ之ヲ痛ク也ルハ今モ
知れん家ヨリモロキ成りを指て筆ヨリ草花ドコデナシ 天も地も
ノ好時ニ一ハ取リ子ニ悲シクルモ物ニ老人心を発し深
帰スル人ほしくん清水金子米江士ニ云ヒく 古川と号ハバや
知定並ニ遠府中一皆知ルく東ニル着のぬき金本おきくる大
士ノ至ルヲ歎シム所ナリシとて独ニ是皆世ノ迷ひ作○
南無三しへ作と孫子ヨリ今眼前ノ人を助ケヨ○庵雅せん一切経ヲ読ム
ヨリモ孔ノ字ヲ知也ハ智識也ケリ先ハ知室石ノゆらんフヨ申上度
子ノ事ハ先ニ密ニシテ人ニ示シ見ナシ

小寺大拙

四月廿三日

寺尾是吉雅兄